



## 夏一番 吉田町夏祭り

7月4日、県内最初の夏祭り、吉田町夏祭り「夏一番！きなはいやサマーフェスタ2009」が開催されました。



当日は快晴の空のもと会場周辺は大勢の人で賑わいました。吉田小児童の「トランペット鼓笛隊」では、元気で力強い演奏を響かせ、「魚つかみ・魚すくい大会」「ピョン大会」「フルーツフル早食い競争」などでは子どもたちが元気に盛り上がっていました。



和島信用金庫の牛鬼が練り歩き、「きなはいや流し踊り」では、15団体約700人の参加者が、さまざまなパフォーマンスをしながら町中を踊り歩きました。

日が落ちて祭りムードが高まるなか、「吉田御陣屋太鼓」の勇壮な太鼓の音色とともに、かがり火と松明の光に照らされた若者たちの「走り込み」と「お札争奪戦」が始まり、お札を奪いに行く姿に、観客からは大きな歓声もあがっていました。興奮が最高潮に達したところで、フィナーレの打ち上げ花火が夜空に舞い上がり、夏祭りを締めくくりました。



## うわじま牛鬼まつり

7月22日～24日、和霊

大祭・第43回うわじま牛鬼まつりが開催されました。まつりのオープニングを飾る「ガイヤカーニバル」では78団体約3,600人も参加者がリズムに乗って、きさいやロード・牛鬼すとりとを所狭しと踊りました。大賞をとったのは、子ども部は「Petit Ange Passe」、一般の部は「愛媛女子短期大学選抜チーム『凜々リン々』」の皆さん。息



の揃ったダンスで観客を魅了しました。

2日目は、「プラスバンド・トランペット」「子ども牛鬼パレード」と、元気な子どもたちのあつと、「宇和島おどり大会」でしとやかな、また楽しい踊りを披露。そして、宇和島湾から3,600発の花火が打ち上げられ、宇和島の夜を鮮やかに彩りました。

最終日の24日、「親牛鬼パレード」で18体の牛鬼が威勢のいい掛け声とともに、きさいやロードから和霊神社まで練り歩きました。途中、2、3体での鉢合わせも披露して、観客を大いに沸かせました。夜には、締めくくりを飾る「走り込み」で、御神竹に若者が一気に登り御幣を得ると、盛大な歓声と拍手が鳴り響き、アツい3日間に幕を閉じました。



ふるさとで味わう  
夏のひととき

8月13日、第42回納涼大会が三間中学校グラウンドで開催され、盆をふるさとで過ごす多くの人たちでにぎわいました。三間輪の会・宮野下町自治会・商工会など各種団体による「三間町音頭」の練り踊りで開幕となりました。

会場では保育園児や小学生の踊りなどが次々に披露され、観客から大きな拍手が送られました。「三間町音頭」総踊りの終わりに打ち上げられた花火は、三間の夜空を彩り、多くの人が夏の夜のひとときを楽しみました。8月16・17日には、岩松川お祭り河原を主会場に「つしま夏祭り」が開催されました。16日の前夜祭では、三



ニコンサートに聴衆は酔いしれ、また、岩松の町並みはあんどんに照らされて、幻想的な世界を演出していました。

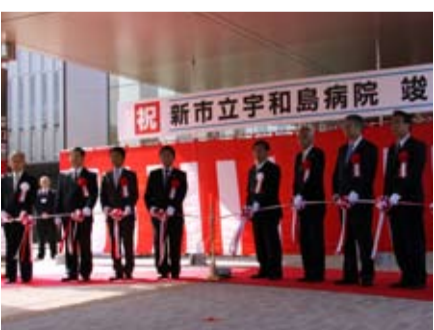
17日は、津島中プラスバンド、津島高チアリーダー、レーモンド松屋・やしまひろみ・山口瑠美歌謡ショーに大いに盛り上がり、舞踊大行進ではそれぞれ工夫を凝らした衣装で着飾り、新津島音頭に乗せて踊り歩きました。「雅」による力強い樹根太鼓の勇壮な演奏で、会場の熱気はクライマックス！色とりどりの花火が川面を彩り、観客はふるさと津島の夏のひとときを楽しんでいました。



## 新市立宇和島病院 グラウンドオープン

9月5日、市立宇和島病院で約4年にわたった工事の竣工を記念した竣工式があり、新病院の誕生を祝いました。また、9月14日にグラウンドオープンし、利用できるようになりました。

新たにできた北棟にはさくらホール（エントランスホール）、総合案内、総合受付、定員約200人の講堂、理容室、コンビニエンスストアやカフェレストランなどがあり、立体駐車場には、450台が収容可能です。



## 記録的入館者数 「戦国武将伝」

市立伊達博物館で創立35周年特別展「戦国武将伝」が9月1日～10月4日に開催され、県内外から多くの人が訪れました。展示期間中の入館者は、1万2,011人と30年ぶりに1万人を突破するほどの盛況でした。

特別展では、国指定重要文化財（重文）の門外不出といわれている「木造織田信長坐像」や、同じく重文の「絹本着色豊臣秀吉像」など戦国武将ゆかりの品々が展示され、人気を集めています。



# 宇和島の新しい乗り物に

## ぜひ一度ぜひ乗車ください



ベロタクシー  
運行開始

9月3日、城山周辺の観光施設や病院などを回るベロタクシー（2人乗り）が運行を始めました。「ベロ」は「自転車」を意味しています。3台の特産品などをラッピングしたベロタクシーがお客さんを乗せて市内を走りまわります。急な呼び出しには対応できない場合がありますので、事前にご連絡ください。

【料金】1人初乗り50円（1キロ以内）以降は1キロ50円。

※身体障害者・就学前児童・運転免許返納者は、初乗り料金無料。

【連絡先】宇和島地域雇用創造協議会 ☎22-7890



### モーにバス 実証運行中！

8月1日、市内中心部にある観光スポットを周回する観光循環バス「うわじまモーにバス」の実証運行を開始しました。地域公共交通活性化協議会の委託を受けた市が、宇和島自動車（株）と共同で運行しており、JR宇和島駅前・市立宇和島病院・きさいや広場など11カ所を約30分で1周します。

モーにバスはこのルートをグルグルまわります

- ← JR宇和島駅前
- ← 恵美須町
- ← 南予文化会館前
- ← 牛鬼すとりと
- ← 追手通り前
- ← 本町追手
- ← 堀端町
- ← 市立宇和島病院
- ← 伊達博物館前
- ← きさいや広場
- ← 恵美須町

### 北海道石狩郡

## 当別町と姉妹都市に

7月5日、北海道石狩郡当別町（とうべつちょう）と宇和島市は、それぞれの姉妹都市である宮城県大崎市で姉妹都市盟約締結調印式をしました。

伊達家が結ぶ縁で、平成18年3月に3市町で「友好交流の証」を取り交わし、当別町と宇和島市は各種イベントでの相互交流、お互いの農産物・海産物のPRと販売など交流を深めてきました。きさいや広場のオープンイベントに当別町の皆さんに来ていただき、そこで姉妹都市締結の話がまとまり、今回の調印式となりました。



また、9月26日・27日には、姉妹都市となったことをきっかけに、産地直送のおいしい野菜を食べてもらおうと北海道の広い大地で育った野菜を販売する「とうべつ市場 in 宇和島」がきさいや場で開催されました。

当日は、生でも食べられるとうもろこしやいもだんご汁など当別町の特産品が販売され、予想以上のお客さんが集まり、1時間程度で売り切れるほどの大盛況でした。姉妹都市締結をきっかけとして、さらなる交流の拡大、お互いの発展につながるよう努めます。



### 当別町について

当別町は札幌市と境界を接し、札幌都心部から約15〜25キロメートルに位置しており、現在の人口は18,952人（平成21年7月1日現在）です。明治4年、仙台藩岩出山の領主・伊達邦直公が家臣共々移住し、苦難の開拓の歴史が始まりました。人々の開拓の努力は、明治35年頃には札幌支庁管内（当時）でも豊かな農村へと発展し、農業を基幹産業とした本町の礎が築かれました。

現在は、管内有数の米、切り花のほか、野菜の生産にも力を入れており、札幌市などの産地集積地の隣地であり農業を通して都市との交流を深め、札幌近郊の田園都市として発展しています。

また、気候風土が似ているといわれるスウェーデン王国・レクサンド市との姉妹都市提携を機に積極的な国際交流を進めています。



### 観光施設の休館日（休館日が祝日の場合は翌日になります）

施設名	休館日	電話番号 (市外局番0895)
市立伊達博物館	12月24日～1月4日、月曜日	22-7776
市立歴史資料館	12月28日～1月4日、月曜日	23-2400
吉田ふれあい国安の郷	12月28日～1月4日、月曜日、祝日の翌日	52-4884
きさいや広場	12月31日 午後2時～1月1日	22-3934
道の駅「みま」コスモス館	12月31日～1月2日、火曜日	58-1122
畦地梅太郎記念美術館・井関邦三郎記念館	12月29日～1月3日、火曜日	58-1133
薬師谷温泉さかの	無休	27-3511
津島やすらぎの里	第1・3月曜日（1月4日は営業）	20-8181
祓川温泉	毎月1・20日	36-0333
南楽園	12月29日～1月1日	32-3344

### イベント情報

- 12月13日まで 吉田ミカン祭り
- 1月2日 定期闘牛大会
- 1月下旬 津島しらうお&産業まつり
- 2月27・28日 宇和島の恋人まつり
- 4月4日（予定）定期闘牛大会
- 6月上旬 薬師谷溪谷 ぞつめん流し

### 編集後記（担当 竹葉）

交流会開催予定 今年度の各地域交流会を、近畿地区は1月24日に新阪急ホテルで、関東地区は2月上旬に都内で開催予定です。初開催の中部地区については、日程調整中です。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

ジャワのカレー復活 市立病院内のレストラン「Koen's Cafe」に懐かしい「喫茶店ジャワ」のカラーが復活しました。7年前に閉店された店主が伝授されたそうです。あの味を想像しただけで汗が出てきます。